

ヘメロカリスの園内植え出しについて

高山 信明

当園では、昭和58年からユリ科キスゲ属の植物を収集し、なかでも一般にヘメロカリスと呼ばれる園芸品種（世界に50,000種と言われる）は、現在134品種（表参照）を保有している。収集にあわせて59年度からヘメロカリス展と題し、鉢栽培による展示会を行ってきたが、平成4年10月、露地栽培による常設展示に移行すべく、園内に植え出したので報告する。

植栽場所は、ため池の東側で、ツバキ園に行く園路脇の路肩部分である（図1）。ため池水面まではコナラ、アカメガシワ、ネジキなどの落葉樹が優先し、一部アカマツが見られる斜面の林であった。ヘメロカリスの日照を確保するため、5～6m伐開を行い、幅1～1.5m、延

長約60mの植え込み地を作った。新たに真砂土、バーク堆肥、腐葉土を混入した土を入れ、耕運機で耕耘の後、間隔50cmで植え付けた（図2）。

今後順調な成長をするに従い、隣接の品種との混同を起こさないよう、早めの株分けを行い、明確な品種の保存に努める必要がある。



図1. ヘメロカリス植栽場所図

表. 当園で保有するヘメロカリスの園芸種（135～137は除く）

番号	品 種	番号	品 種	番号	品 種	番号	品 種
①	クレストウッド イブニング	④⑦	フェア ジョアベル	⑧①	ピンク ライム エイド	⑧④	レッド フォンテーイン
②	ボニー パーバラ	④⑧	バーバラ キングス	⑧②	アンナ ワーナ	⑧⑤	バグゲテ
③	キャンディー カウンター	④⑨	マーシャ ラッセル	⑧③	ペルト ビューティー	⑧⑥	カールス
④	データ ブック	④⑩	シー ヒア	⑧④	サマー ピンク	⑧⑦	ヒーブ グッド
⑤	アミューレッド	④⑪	フェアリー ウィングス	⑧⑤	クレストウッド ルーシー	⑧⑧	マルトノマー
⑥	ウェルカム アボード	④⑫	グリーン キャニオンズ	⑧⑥	ラディアント グリーティングス	⑧⑨	ジムス ビック
⑦	ギター ストリート	④⑬	フレイズム オブ フォーチュン	⑧⑦	センテニアル'69	⑧⑩	カート ウェールズ
⑧	ブライト レッド	④⑭	ラグジュアリー レース	⑧⑧	シマロン バス	⑧⑪	ダービー バウンド
⑨	ジョアン シニア	④⑮	カミング ユア ウェイ	⑧⑨	ダブル グラベッティー	⑧⑫	ペンガレーア
⑩	ルビー	④⑯	ルーラー マクバーネル	⑧⑩	ネイロン ローズ	⑧⑬	クイーン エリアノール
⑪	フェア マーガレット	④⑰	コーラル ミスト	⑧⑪	カーニバル フレア	⑧⑭	スピリット オブ フリーダム
⑫	マスター タッチ	④⑱	シンプル キワツ	⑧⑫	タムリン	⑧⑮	ダブル ピンク メロン
⑬	アラン	④⑲	ホルマーク	⑧⑬	クライミング グローリー	⑧⑯	プレシャス アクセント
⑭	シーゴールド	④⑳	ペパリー ヒルズ	⑧⑭	プレイブ ワールド	⑧⑰	ダブル ドラゴン
⑮	カントリークラブ	④㉑	メロディ レーン	⑧⑮	ブルック リッジ	⑧⑱	ジュラルディン ディーン
⑯	ブレイリー サンセット	④㉒	ピース	⑧⑯	ホルテンシア	⑧㉑	クリスマス キャンドルズ
⑰	エブリン クレア	④㉓	ジャミー ダングラス	⑧⑰	グランドファザー タイム	⑧㉒	レア チャイナ
⑱	ジョージ カニハム	④㉔	ミニストラル ボーイ	⑧⑱	ソンベリーナ	⑧㉓	サマー ワイン
⑲	ジャック オブ ワイン	④㉕	ラディアント グーティングス	⑧㉑	アパッチ ティアーズ	⑧㉔	ホルクラフト
⑳	チェリー レース	④㉖	メイ ホール	⑧㉒	パレード トレジャー	⑧㉕	デビー ドリオ
㉑	スージー ウォン	④㉗	デュウェイ ロケモア	⑧㉓	クレイドル ソング	⑧㉖	楊貴妃
㉒	チャリース エンゼル	④㉘	カインド ウェイズ	⑧㉔	ダブル リカーブ	⑧㉗	紅雀
㉓	シークレット ウェイズ	④㉙	ゴールド デン プライス	⑧㉕	ビノリー	⑧㉘	花矢車
㉔	ゲイディー	④㉚	セレナータ	⑧㉖	スモール ウェイズ	⑧㉙	輝き
㉕	クレストウッド ゴールド	④㉛	アドミラル	⑧㉗	アニア ウェルチ	⑧㉚	紅天
㉖	フランシス フェイ	④㉜	ピンク ライトニング	⑧㉘	ゴールドン チャイプス	⑧㉛	若葉風
㉗	リングレット	④㉝	ゴールドン ダスト	⑧㉙	ラブ ザット ピンク	⑧㉜	早咲スパイダー
㉘	ハーフ ピント	④㉞	ハイスーン	⑧㉚	サデン グラス	⑧㉝	トイランド
㉙	シルバー サーカス	④㉟	ホット ツディー	⑧㉛	ステップ フォワード	⑧㉞	フライング ソウサー
㉚	ダブル レッドヘッド	④㊱	ヤング コンテスト	⑧㉜	クラレンス サイモン	⑧㉟	ワイリキスゲ
㉛	ジュガー キャンディー	④㊲	ホール オブ フェイム	⑧㉝	ブレイリー ムーンライト	⑧㊱	ワイリヤブカンゾウ
㉜	ローラベル	④㊳	イフィ	⑧㉞	ガラ グリーティングス	⑧㊲	品種不明
㉝	サムシング	④㊴	プレジデント ライス	⑧㉟	ワズベリー ビクシー		
㉞	エジプティアン スパイス	④㊵	アメリカン リボリューション	⑧㊱	ストレーン アワーズ		
㉟	ヘイゼア	④㊶	ピッツィー	⑧㊲	スケール ガール		

表中の番号は図2の数字と対応する。

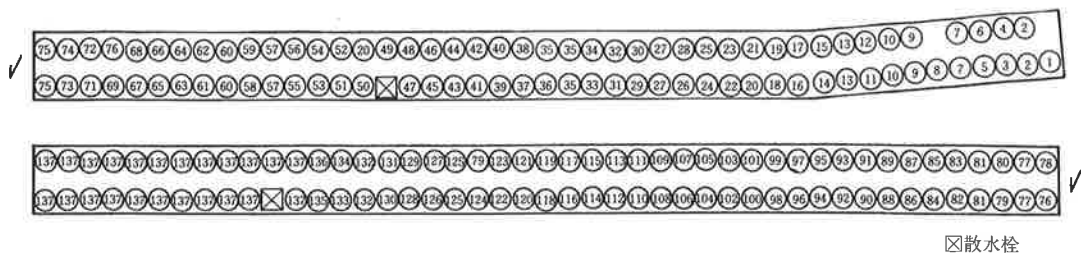


図2. 品種別植付図

系統進化園キク科・ユリ科の 土壌入れ替えと植栽状況について

原田 美佐子

系統進化園は一本の園路の両側を利用し、植物の分類を歩きながら順序よく系統立てて理解できるように、代表的な植物を植栽している。このため、毎年同じ場所に全く同じ植物や近縁の植物を植えることになり、連作障害やウイルスによる土壌汚染で生育が芳しくない。これらを解消するため、平成4年3月にキク科、10月にユリ科の植栽場所の土壌入れ替えを行った。

土壌入れ替えの方法とその後の植栽状況を報告する。

1. キク科 (317.8㎡)

植物を撤去した後、用土を約30cm掘り取って処分し、下記の組成で作成した培養土を入れた。

〔培養土10㎡あたり〕

真砂土	10.0㎡	マグアンプK	10.2kg
腐葉土	1000ℓ	苦土石灰	13.3㎡
牛糞堆肥	66.6kg		

土壌入れ替え後、ECとpHを測定したところそれぞれ0.48、6.0～6.5であった。さらに植栽前に適宜バーク堆肥を追加した。

土質は柔らかく、植物の生育は非常に良好となった。

植栽図と植栽した植物は図1と表1（日本の野生種）、図2と表2（園芸種）のとおりである。

2. ユリ科 (91.9㎡)

植物を撤去した後、用土を約30cm掘り取って処分し、下記の組成で作成した培養土を入れた。

〔培養土10㎡あたり〕

真砂土	7.0㎡	マグアンプK	10.0kg
腐葉土	0.5㎡	バーク堆肥	2.5㎡
牛糞堆肥	66.6kg	カキ殻	27.9kg

土壌入れ替え後も、土質は硬めであったが、植物の生育は良好となった。

植栽図と植栽した植物は図3と表3のとおりである。

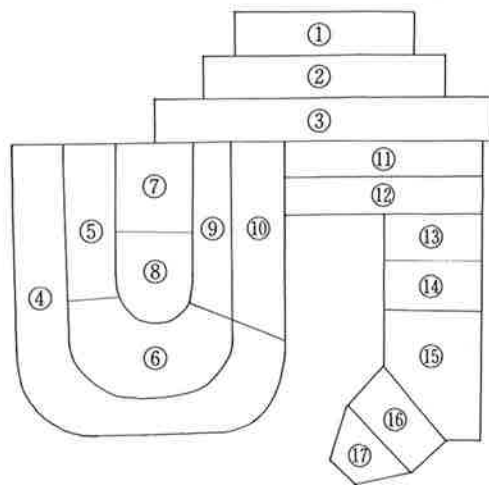


図1. 系統進化園キク科（日本の野生種）